

# 今、伝えたい私の戦争体験

市では、「越谷市平和都市宣言」の趣旨を踏まえ、平和に対する思いを深めるとともに、「戦争の悲惨さ、核兵器の恐ろしさ、平和の尊さ」を後世に伝える事業を実施しています。

今号では、市内在住で「平和の語り部登録ボランティア」として活動している横田智恵子さんの著書『十二歳の戦争 おばあちゃんが語ります』および体験談から、空襲に遭い、高等女学校1年生のときに長崎原爆の被災者救護にあたった体験等を紹介しします。



よこた ちえこ  
横田 智恵子さん

## 越谷市の平和への取り組み

- 越谷市平和都市宣言の制定  
(平成20年11月3日)
- 平和首長会議への加盟

## 毎年の取り組み

- 広島平和記念式典へ市内中学生派遣
- 平和展、平和講演会の開催等



太平洋戦争は、4年という短い間に日本中で多くの方が空襲で亡くなり、戦場で命を落としました。これが「戦争」です。生き残っている私たちは、今の平和な暮らしに感謝もせず、亡くなった人のことや、苦しかったことも忘れがちです。忘れてはいけませんよね。

私は長崎県佐世保市で生まれ、家族は父、母、姉3人、兄、私の7人。昭和20年6月、12歳のときに佐世保市で空襲に遭い、家や友達も亡くしました。その年の8月15日が「終戦」です。

終戦から4カ月後だと思いますが、佐世保を訪ねると、家の跡にはアメリカ兵のためのハウスが建ち、子どもが庭で楽しそうに遊んでいました。もうこの地には帰れないかと思うと、とても悲しかった。

### 昭和20年6月28日夜半 B29(爆撃機)三十数機

この日はどしゃ降り、敵の飛行機は来ないだろうからゆっくり眠ろうと父の言葉で、11時ごろまでおしゃべりして床についた。「早く起きろ、早く逃げろ」父の声で飛び起きた。急いで服に着替え、姉の「防空壕に逃げなさい」という声を後ろに玄関の戸を開けた。なんと夜中なのに真っ赤だ。空襲警報のサイレンがけたたましく響いている。敵機からの焼夷弾は遠慮なく落とされ、火の玉があちこちに飛んでくる。10メートルほど離れた防空壕にようやく着いた。防空壕の隙間から外を見た。我が家と貸家が真っ赤に燃えている。「ここは危ない、上のトンネルに逃げろ」誰かのどなり声で外に出て、足元も悪くゴロゴロ石の坂道を歩いて上を目指した。夜が明け、下に降りると町じゅう焼け野原だ。見渡すかぎり、何一つない。後日、親族が待つ長崎県大村市に行くことが決まった。

佐世保駅は人、人、人である。汽車が時間どおりの運行でなく、何時間、何日待つのか。2日後、窓から車内に乗り込み、大村駅で降りることができた。私は、大村高等女学校1年に編入することができた。

### 昭和20年8月9日 長崎に新型爆弾

午前10時過ぎごろ、突然、警戒警報のサイレンも鳴らないのに、敵機のごう音が頭の上でと

思うほど、近くにすさまじく響いた。慌てて裏庭の防空壕に飛び込んだ。けたたましく空襲警報のサイレンが鳴り響いた。どのくらい入っていたのか、飛行機の音が全然聞こえなくなった。「警戒警報解除」の知らせもない。

外はなまぬるい風が吹いている。空一面に広がる真っ黒い雲がいつまでももくもくと大きくなり、異様な形の「大きなこ」に変わっていく。「また何が起こるやもしれぬ。今のうち、昼ごはんを食べよう」父の言葉で家に帰り、いつもの芋がゆをすすった。

### 被災者の救護

「女学校の伝令」だという上級生が我が家に来た。「女学生は大村駅に至急集合です」「長崎の被災者が大村に来るらしいから手伝いです。早く」私は駅へと急いだ。

小さな大村駅は、人でごった返していた。多くの女性たちが横たわり、息も絶え絶えの人ばかりだった。肌が焼けてぼろぼろになり、その下に皮膚が剥がされて、ピンク色の肌があった。真っ赤な血が吹き出て、目だけがぎょろぎょろしている人もいる。死んだように動かない人もいる。陸軍兵や消防団の人が放り投げるような状態で列車から降ろした被災者を、トラックまで連れていくことを繰り返した。被災者は大村陸軍病院へと運ばれていった。それは夕方まで続いた。夜、夢で「痛い、痛い」という声がして、目が覚めた。

夜が明け、貧しい朝食を早めに済ませ、駅に向かうと、ずいぶん待って貨物列車が着いた。被災者が降ろされたが、昨日の半分ほど。なんだか、ほっとした。

### 昭和20年8月11日 機銃掃射

8月10日、夕飯のとき。「この大村も航空隊があるし、狙われるだろう。佐賀県の大浦に疎開するから準備すること」と突然父が言った。

8月11日、汽車に乗り大村を離れた。小さな駅舎を2つ過ぎた頃、なんと上空の敵の飛行機が列車を目がけて機銃掃射(敵をなぎ払うように射撃すること)をした。列車はありったけのスピードで走る。すると突然、きしむ音とともに

に急停車。「早く、飛び降りろ、早く」停車場ではないから下までは高く、飛び降りるのに勇気がある。私は2メートルほどの高さから飛び降りた。息をつく間もなく、機銃掃射を放つ敵機が来た。反射的に上を見た。眼鏡をかけた兵隊が、機関銃をこちらに向けている。私たちを目がけて、機銃掃射してくる。目の前の草が跳ね上がる。観念して、草むらに伏せた。誰に命中したかは分からないが、頭の上で無差別に機関銃の音がする。上をキョロキョロと敵機を探した。何機かの尾翼が遠ざかっているように見えた。起き上がった。無事だったんだ。大きく息をした。その後、汽車を乗り継ぎ、夜遅くに佐賀県の大浦に着いた。

### 昭和20年8月15日 終戦の玉音放送

「日本が戦争に負けた。戦争が終わった」大人たちが口々に言う。戦争が終わったということをしばらくして理解し、素直にうれしいと思った。私の家族はまた大村に戻った。

### あとがきに代えて

- 核兵器は怖い。絶対に作ってはならない。戦争は無残で、悲劇があるのみ。戦争は悪であり、正義ではない。戦争は、絶対してはならぬ。最後に、声を大にして言いたいと思います。

### ミニ平和展

日程 8月13日(火)~16日(金)

会場 エントランス棟1階エントランスホール

内容 令和5年度広島平和記念式典参加者の感想文、広島・長崎の被災資料、被爆後の写真資料、越谷市の戦史資料の展示等

\*詳しくは市ホームページ(HP89026)を参照

### 平和の語り部登録ボランティア募集

市では、戦争を体験した方や海外における平和活動を体験した方で、小中学校・地区センター等で平和の大切さをお話しして下さる方や、体験談を文書等でお寄せいただける方を随時募集しています。電子申請、電話、ファクスまたはメールで下記へご連絡ください。

問総務課 ☎963-9140、FAX963-7625、E:somu@city.koshigaya.lg.jp、HP10322

## 使ってみよう! マイナ保険証

### マイナンバーカードは安全性の高いカードです

マイナンバーカードを安心して利用できるよう、技術面、運用面の観点から安全な利用環境の整備に取り組んでいます。12月2日(月)から現行の保険証は発行されなくなります。安心・安全なマイナンバーカードを、保険証としても利用しましょう。

問マイナンバーカードについて…市民課 ☎940-8604、マイナ保険証について…国保年金課 ☎963-9146、HP8342

### 3つの安心ポイント

カード紛失・盗難の場合は  
24時間365日体制で一時的利用停止可能!

☎0120-95-0178(フリーダイヤル)

カードのICチップには、税や年金などのプライバシーの高い情報は入っていません。また、カード利用には暗証番号等の認証が必要で、不正に情報を読み出そうとするとICチップが壊れます。

マイナンバー制度は  
情報を一元管理するものではありません!

手続きを受け付ける行政職員だけがその必要な情報に限りアクセスすることが許されており、不正なアクセスが行われないよう監視されています。



他人があなたのマイナンバーを使って  
手続きすることはできません!

手続きの際は顔写真付きの本人確認書類での本人確認が行われます。また、マイナンバーを知られてもあなたの個人情報を調べることはできません。マイナンバーの利用範囲や、収集・保管などは厳しく制限されています。